



# 高津川流域の概要

- 高津川は島根県西部に位置し、下流部には石西地域の中心都市である益田市街地があり、人口・資産が集中している。
- 流域の地形は、全体的に平地に乏しく、急峻な地形となっており、河道は山地内を穿入（せんにゆう）蛇行しながら谷底を流れ、最下流部でようやく横田盆地・益田平野等の沖積平野が広がる。

## 流域の概要



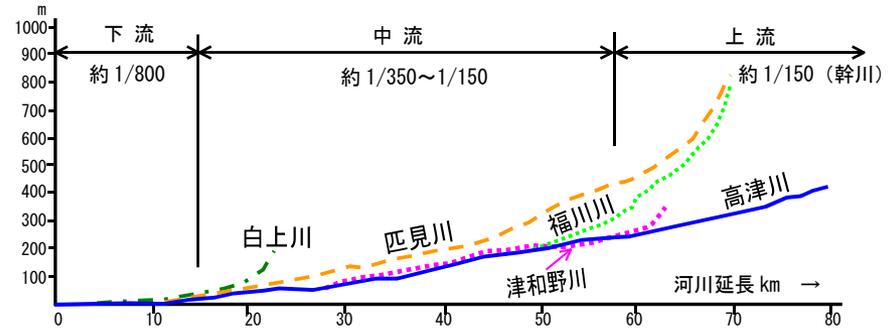
## 流域図



## 流域及び氾濫域の諸元

流域面積(集水面積)	: 1,090 km <sup>2</sup>
幹川流路延長	: 81 km
流域内人口	: 約3万2千人
想定氾濫区域面積	: 39 km <sup>2</sup>
想定氾濫区域内人口	: 約2万1千人
想定氾濫区域内資産額	: 約5,000億円
流域内市町	: 益田市、津和野町、吉賀町

出典: 第10回河川現地調査(H22年基準)

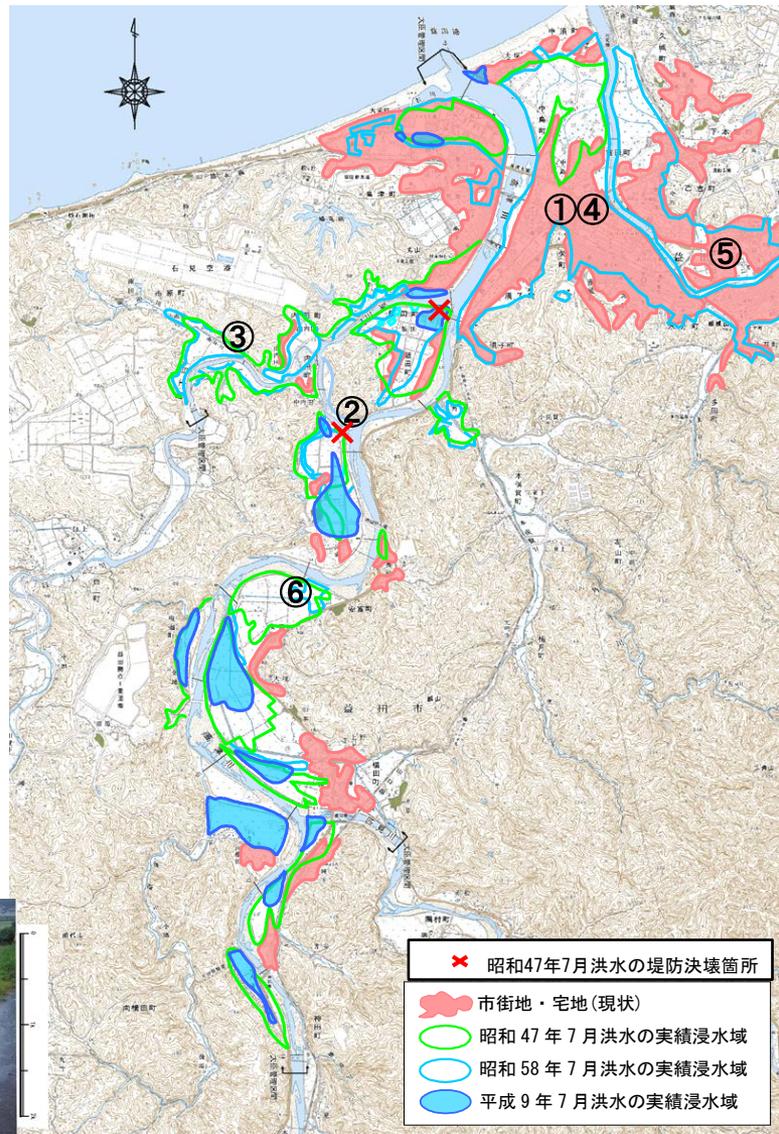


# 高津川 過去の洪水被害

- 高津川の下流域は、益田市街地が低平地に広がり、水害を受けやすい地形となっている。
- 過去の主な水害としては、戦後最大流量を観測し堤防決壊等の災害が続出した昭和47年7月洪水等が知られているほか、近年では平成9年7月洪水において浸水被害が発生している。

【主な洪水被害】 出典)建設省河川局「水害統計」、ただし昭和18年は益田市史による

洪水名	成因	高角流量 (m <sup>3</sup> /s)	人的被害	家屋被害			浸水面積 (ha)	一般資産等被害額 (百万円)
				全半壊家屋(棟)	床上浸水(棟)	床下浸水(棟)		
昭和18年9月洪水	台風	約4,000	(益田市)死者・不明者108名	2,590	314	209	不明	不明
			(美濃郡)死者・不明者136名	3,194	3607		不明	不明
昭和47年7月洪水	梅雨前線	約5,000		64	751	1,232	1,254	1,387
昭和58年7月洪水	梅雨前線	約2,500		60	53	260	222	892
昭和60年6月洪水	梅雨前線	約3,200		2	9	155	348	465
平成9年7月洪水	台風	約3,300				25	123	251



①昭和18年9月洪水による益田市街地の被災状況



②昭和47年7月洪水による派川虫追橋の被災状況



③昭和47年7月洪水による白上川の被災状況



④昭和18年9月洪水による益田市街地の被災状況



⑤昭和58年7月洪水による益田市街地の被災状況



⑥平成9年7月洪水による堤防法尻からの漏水対策